

中城湾港

沖縄県土木建築部港湾課

〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2

☎098-866-2395

URL : <https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/doboku/kowan/keikaku/documents/okinawanokouwan.html>



1. 概況

中城湾港は、沖縄本島中部の東海岸に位置し、北の勝連半島から南の知念半島まで、3市2町2村にまたがる約24,000haの広大な海域を有する港湾である。

古くは、沖縄本島中北部との間に山原船やんばるせんが運航し、泡瀬や与那原、馬天を中心として交易の拠点として利用されていた。

昭和40年代に入ると、東洋石油、エッソスタンダード石油（現在の南西石油株）等が進出し、大規模な石油基地の整備が進められ、大型港湾としての発展の期待が高まった。

沖縄の本土復帰とともに、琉球政府から沖縄県に移管され、その後大型港湾の適地としての開発計画が検討され、昭和49年4月には重要港湾に指定された。

昭和55年7月には、中城湾港開発基本計画を策定し、沖縄振興開発計画に掲げる沖縄経済の自立的発展を図るための拠点として、流通加工港湾の整備が位置づけられ、これを踏まえ昭和56年3月に港湾計画の改訂が行われた。

その後、平成2年8月には、流通加工港湾としての整備を引き続き推進するとともに、地域住民の海洋性レクリエーション活動の場や新たな市街地の整備等の多様な要請に対応するため、新港地区開発の見直し、マリンタウンプロジェクト計画等を含む港湾計画の改訂が行われた。

また、平成7年11月には、本島中部圏の活性化、観光リゾート振興のための戦略的な国際交流リゾートの拠点として泡瀬地区開発計画が港湾計画に位置づけられた。

平成11年には、新港地区の工業用地、約122haが特別自由貿易地域（平成26年6月には、国際物流産業集積地域として約193haに拡大）に指定され、港湾機能を活用した新たな産業と雇用の場の創出が図られることとなった。

現在は、新港地区、泡瀬地区及び馬天地区、仲伊保地区の整備を推進しているところである。